



第27回目となるバスツアーは昨年に引き続き、関東平野有数の河川である荒川上流域とダム群、さらに荒川源流部を訪れました。荒川は首都圏の中央部を流れ、葛飾区の西縁を画する、治水や利水の面できわめて重要な河川です。6000年前の縄文海進期、東京低地には渡良瀬川が南下した東の入り江が、一方利根川と荒川は西の入り江を形成していました。また、17世紀初頭まで荒川は現在の埼玉県越谷市で古利根川に合流していました。東京低地に関わる河川の変遷と上流部で治水治水の重要性を再認識する契機となれば幸いです。

◆埼玉県立川の博物館

みなさんのアンケートから

女性○、男性●、(参加回数)です。

- 水をみちびく川のすばらしさを体感する館、再度訪ねる予定(3回目)
- まず水車の大きさに圧倒され、荒川の模型(?)にビックリしました(5回目、他多数)
- ガリバーウォークには感激しました。よく作ったものです(2回目)
- 荒川大模型173で荒川の流域と葛飾の位置がわかり理解できました(2回目、他多数)
- 中川、綾瀬川の合流点はどうなっているかと思ったので、荒川大模型173分りやすく良かった。上流に向かっての現地を見ながらの説明、納得します(初参加)
- 荒川放水路の開削で祖父の代に移転していたことを聞いていたので、荒川の源流から東京湾までの流れが実感できました(4回目)
- 展示で上尾の開閉橋に興味を持ちました(7回目)
- ゆっくり、しっかり見て廻れました。鉄砲壠の水も流していただき良かったです(18回目)



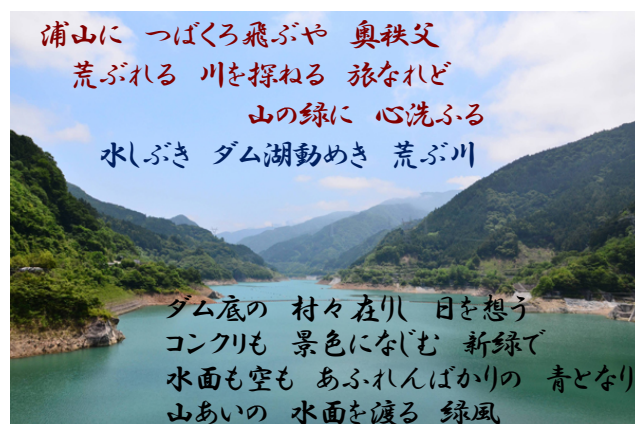
日本最大級23mの「大水車」と
かわせみのカワシロウ



- 面白かった。もっと時間が欲しかった(3回目、他多数)
- 溪流魚をひさしぶりに間近で観察でき楽しかった。もう少し泳ぐ姿をみていたかったのですが、今度ゆっくりみに来ます。メダカ、タナゴも久しぶりです(3回目)
- 鉄砲せきや水塚などの模型はめずらしく良かったです(初参加)
- 船上で日常生活をこなしながら運送する展示がとてもリアルでした。50年以上も前、船上生活をする人を見たことがあり、そういう生活が日常的にあったのだと実感しました(初参加)

◆浦山ダム(秩父さくら湖)

- 説明して下さったのがわかりやすく良かったです(3回目)
- ダムの堤が高い。圧倒的な重量感である。さすが日本で2番目の高さである(6回目)
- 登ってきました。565段……、明日はきっと筋肉痛で階段下りれるか心配(4回目)
- つい魔がさして富澤と昇ってしまい、途中で息が荒って深く後悔しました(橋本)



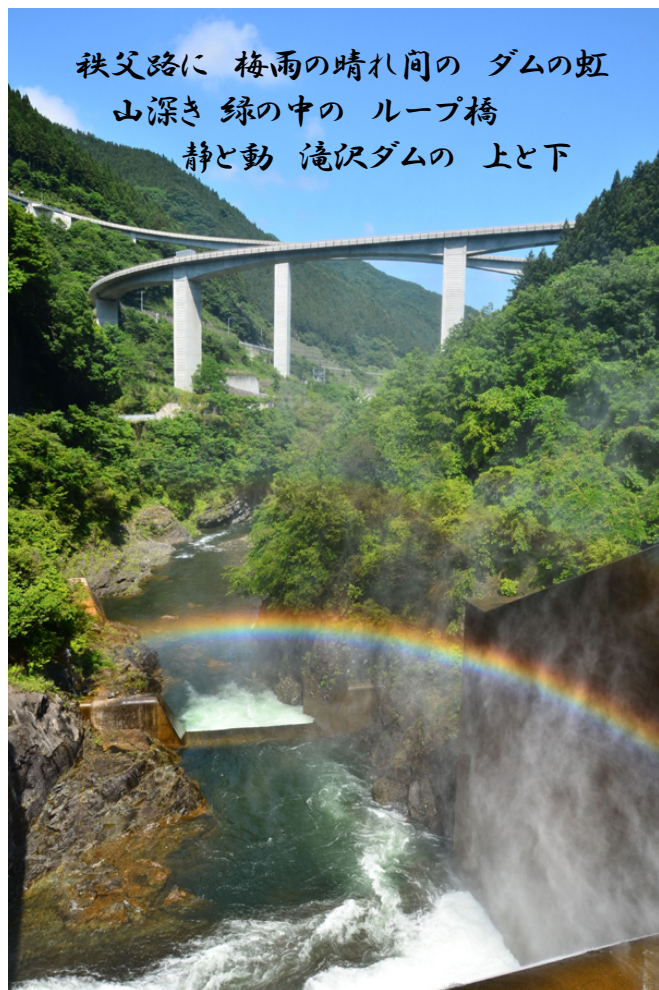
- ダム下から階段で登り切り、ヤッター！と満足感にひたりました。あわてて昼食となったので、オニギリが胸につかえました。時間が足りませんでした（5回目）
- 下流域の人の飲用と安全の為に、先祖からの地を立ち退いた人の事を考えると頭が下がる。コップ1杯の水も大切にしよう（初参加）
- 荒川の水量調節が重要だなと思った。発電の目的はあまり重要ではなかったのか？（初参加）
- 陰しい自然と不思議な調和をしているのが印象的（初参加）
- ダムもちぢんだり伸びたりするとは驚き（初参加）
- 改めて巨大建造物におどろいた。原発も同じ星のもとに生まれているのかなあ〜と思った。このウラには巨大な利権、装置産業、建設業界の仕事の存続がかかっているのかな〜（4回目）
- つばめが東京とは違う種でした（3回目）
- 都市型ダムって？ ダムと一緒に楽しく学ぶアミューズメントスポット！？（13回目）
- ダム周辺の景観がすばらしかったです。パネル展示でダムの成り立ちがよくわかりました（初参加）
- 静かでした。圧倒的な建造物がそこにあるのに、本当に静かでした（初参加）

◆滝沢ダム（奥秩父もみじ湖）

- ダム管理事務所職員の皆さんに感謝。お休みのところ楽しい時間をつくっていただきありがとうございました。ダム底まで歩いて降り、放水に迎えられ、天気男にも感謝（3回目）
- 虹を見たのは何年ぶり、いや何十年ぶりだろう。ダムの堰堤を歩きながらいつか歌っていた。「Over the rainbow」（初参加）
- ダムの説明がスライド見れてよかった（2回目、他多数）
- 浦山ダムでは理解できなかった事が、ビデオや事務所の方とのやりとりの中で自分なりに納得出来ました（2回目）



レイクビューハウスでご説明をいただきました！



秩父路に 梅雨の晴れ間の ダムの虹
山深き 緑の中の ループ橋
静と動 滝沢ダムの 上と下

- 放流が観れてよかった。パネルの写真（動・植物）もよかった（3回目）
- 新しいダムは新しい工法により良く出来ているのがわかり、栗原さんの説明も分かりやすかった。虹がきれいでした（7回目）
- 435段を下り、足腰をきたえた感じです。梅雨の晴れ間に映える虹に感動！（8回目他）
- すぐ近くまで行けて良かった。普段出来ない事が体験できた。感謝です（4回目）
- バスの中では昨日は放水、今日はなしーありました。見えました。天気も晴れてきて、最高！！ 空気がおいしい。つり橋から見る放水の迫力！ しぶきの中にみごとな虹！（初参加）
- 放水の量が目の前で見れたからか想像以上に激しく、ダムに来たという印象を強く与えてくれた。虹がとてもきれいで雨男としてがうれしい限り！（初参加）
- 雄大なる山々の中で生きている水を管理している現場はスバラシイと思いました（3回目）
- ダムの直線と橋の曲線ー巨大建造物どうしの美しい景観（13回目）
- ダムに沈んだ村々のおかげで荒川の下流に住む私たちの日々の生活が守られていることを実感しました。ステキなにじに感激（4回目）

虹越しにみるループ状の「大滝大橋」と「廿六木橋」

◆雁坂みち（雁坂トンネル）と甲州路

友と行く 学ぶ楽しみ ダムめぐり

- トンネル通過 8分（初参加）
- 白石山の眺めと、おいしい空気・水。山のよさを改めて感じました。山が好きになりました（2回目）
- 出会いの丘から見た山並は美しく、ホッとしました。雁坂トンネルは土木技術の力を感じると共に、一人運転だとちょっと恐いなと思いました（11回目）
- 高低、盆地、奥秩父は見所いっぱいでした（2回目）
- 雁坂トンネル内で県境の標識を見ることができました（7回目）
- 織田に攻められた武田軍は、この峠を越えて逃げ落ちたという。年が改まり、雁は帰っても兵は戻ることが無かった（初参加）
- 日本三大峠ということだが、トンネルで通過ということで、凄さを感じられないのが残念だった。ここが荒川源流に今回のツアーで一番近い所だったんだよね～（初参加）
- 秩父山中の自然と甲州道のおだやかさを峠にて感じた（3回目）
- 20年程前、トンネルの手前で引き返して残念だったが、今日は念願が果たせた。できれば荒川源流の入川でバスを停めていただいて、ゆっくり見たかった（4回目）
- 富士山が大きくとても感動しました。日本人に生まれてよかった。感謝（初参加）

朝霧は ワインの香り 包みつつ 静かに昇る 甲府の丘に

夢がある？ 重力式より ロックフィル？ 梅雨の中 晴れてブイブイ 荒川より

- 甲府盆地はやっぱりブドウに代表される果物の山地で、扇状地の明るさを感じました（5回目）
- ここ甲州の特徴である扇状地の説明を聞き、よくわかりよかったです（初参加）

◆その他・自由欄

- 河岸段丘が思ったほど見えず残念でした（7回目）
- 抽選でもれたこともあり、同一ツアーの再開催をお願いします。荒川のつけかえとなった熊谷市久下を訪れるツアーも御願います（2回目）
- 座席の決め方がユニークで good です（7回目）
- これだけの行程なかなか個人ではまわれません。ありがとうございました。感謝（初参加）
- 人工河川の荒川から自然河川の荒川へ、源流めざして川めぐり。
ドラマ“荒川”をタププリ堪能（13回目）
- ダムカード2枚ふえました。集めたくまりました（3回目）
- 秩父、奥秩父にこんなに多くのダムがあることを知らず、今回勉強になりました（初参加）

TOUR DATA		
時間	経過	滞在時間
7:29	博物館出発	
7:45	四ツ木IC	
8:00	川口JCT	
8:16	大泉JCT	
9:05	花園IC	
9:15	埼玉県立川の博物館	65分
11:05	浦山ダム	53分
13:25	滝沢ダム	110分
14:48	出会いの丘	11分
15:03	雁坂トンネル	9分
15:45	マンズワイナリー	30分
16:25	勝沼IC	
17:03	八王子JCT	
17:12	石川PA	11分
18:17	四ツ木IC	
18:33	博物館着	
内山観光バス:フェニックス号		
ドライバー:山口佳之さん		
走行距離: 340 km (倍率1.51倍)		
応募71名、当日参加47名		
参加費2300円/64歳以下見学費240円		



ツアー後記

まずはじめに、お届けするのがたいへん遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。このツアー直後から、現在開催中の特別展準備で東奔西走中でした。さて、二度目の荒川路、ご案内いただきました川の博物館、荒川ダム総合管理所の栗原さんとスタッフのみなさまに厚く御礼申し上げます。区制施行 80 周年記念特別展「東京低地災害史—地震、雷、火事?…、教訓!」は今月 25 日まで開催中です。バスツアーの成果も盛り込んでいますので、ぜひお出かけください。

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>